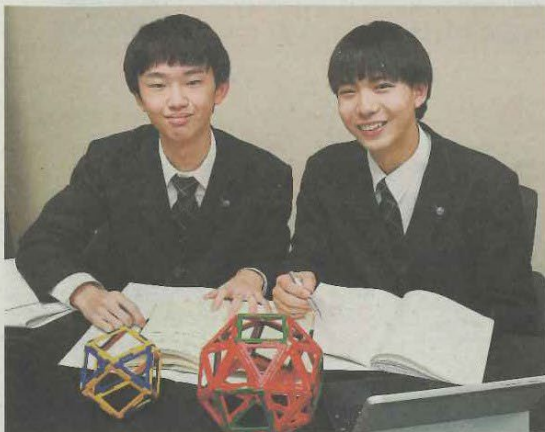


秀峰から4人、JMO・JOIに挑む

頭脳で勝負 本選へ

松本市の松本秀峰中等教育学校の生徒4人が、11日に開く「日本数学オリンピック」(JMO、数学オリンピック財団主催)と、12、13日に開く「日本情報オリンピック」(JOI、特定NPO法人情報オリンピック日本委員会主催)の本戦に出場する。(坪田遼香)



日本数学オリンピックに出場する東谷さん(左)と秋元さん

松本

JMOに臨むのは5年生の東谷匡汰さん(16)と秋元三知朗さん(17)。1月に全国各地で4379人が受験した予選で成績上位247人に入り、本選切符を得た。県内では2人を含む3人が出場する。

本戦は4時間で5問の問題を解く。2人は朝や授業の空き時間、自主活動の数学の探究の時間に勉強に励み、「解いている時間が楽しく、解けた瞬間うれしくなる。苦に感じたことはない」と口をそろえる。

秋元さんは「解けなくても問題自体を楽しめたら」、東谷さんは「最後まで諦めずにや



日本情報オリンピックに出場する的場さん

つてきたい」と闘志を燃やす。JOIに出場するのは4年生の的場岳斗さん(16)と服部惇さん(16)。高校2年生までの競技プログラマー日本一を決める大会で、本選には受験した1432人のうち上位183人が出場する。的場さんは、アプリ

開発をする父の影響で「思っているものや作りたいものを実現できる」と小学生のころからプログラミングを楽しんでいた。

今回は「自分の腕試し」として挑戦。サイト上のプログラムのコンテストに出場して腕を磨き、SNSなどで自分より格上の人たちの解説なども参考にしながら実力を付けてきた。

「積み重ねた自分の力を全部出し切り、上位を目指します」と意気込む。

JMO、JOIとも本選の上位20人ほどが3月の合宿に招待され、最終的に数人が日本代表としてそれぞれの国際オリンピックに出場する。

数学

東谷匡汰君 萩元三知朗君

「日本数学オリンピック」に5年生（高校2年生）の東谷匡汰君と萩元三知朗君、「日本情報オリンピック」には4年生の的場岳斗君と服部惇君が出場する。

「日本数学オリンピック」に5年生（高校2年生）の東谷匡汰君と萩元三知朗君、「日本情報オリンピック」には4年生の的場岳斗君と服部惇君が出場する。11日に全国15

情報

的場岳斗君 服部惇君

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校の生徒4人が、高校生らが科学分野の思考力を競う「科学オリンピック」の二つの大会で本選に出場する。どちらも全国から多くの参加があつた予選を通過した。2月中旬の本番に向けてさらに勉強を重ねている。

（大高崎慧）

科学オリンピック。ピック本選へ

松本秀峰の生徒4人

会場で行われ、長野県は同校が会場となる。



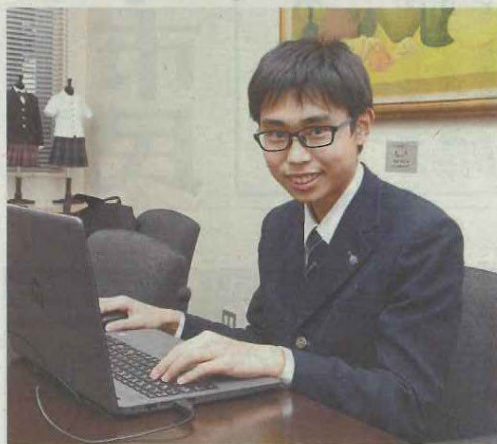
数学オリンピックに出場する
東谷君(右)と萩元君

2人とも大会初参加で本選進出を果たした。東谷君は「上位を目指していろいろ試みていきたい」と意気込み、萩元君は「貴重な経験をしながら挑戦できれば」と話す。

情報オリンピックは、出された問題を解くための手順「アルゴリズム」を考えてプログラミングする。より効率的なアルゴリズムを考えなければ解答基準を満たせない。1432人が参加し、2回の予選を経て183人が本選に臨む。12、13日にオンラインで開かれる。

小学生のころからプログラミングソフトでゲームを作るなどしているという的場君は「予選では手応えを感じていた。本選もしっかりと力を出せるよう頑張りたい」と力を込める。

どちらの大会も、成績上位者は国際大会へつながる選考会に進む。



情報オリンピックに出場する
的場君

松本秀峰生、数学と情報の「五輪」挑む



意気込みを語る、左からの的場さん、東谷さん、萩元さん

4、5年生各2人 大舞台で「力出し切る」

松本秀峰中等教育学校（松本市）の生徒が、今月開かれる日本数学オリンピックと日本情報オリンピックの本選に出場する。放課後に問題集を解くなど準備を続けており、大舞台で自分の力を出し切りたいと意気込んでいる。

日本数学オリンピックに出場するのは、5年の東谷匡汰さん（17）と萩元三知朗さん（17）。全国の中高中生4379人が参加する予選大会で、成績優秀者247人が参加する本選への切符を手にした。同校から本選への進出は初めてで、東谷さんは「本選のレベルは高いが、上位に入れるよう頑張りたい」、萩元さんは「せっかくの機会を楽しみた

い」と健闘を誓う。

より早く正確に課題を解決するアルゴリズム（計算手法）を考える日本情報オリンピック

クには、4年の的場岳斗さん（16）と服部惇さん（16）が出場する。同校からの本選出場は6年ぶり。互いに腕を競つたい（的場さん）と話した。